

地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会（第24期・第1回）議事録

日時：平成29年12月25日（月）17：00～18：30

会場：日本学術会議5階5-C(1)(2)会議室

議題等

1. 委員長および役員を選出について

委員長：木村学、副委員長：福田洋一、幹事：西山忠男、西 弘嗣

2. 分科会の課題について

2-1. 設置目的の説明が木村委員長からあった

2-2. 委員会メンバーの自己紹介があり、31名+1名追加（関華奈子 東大理学系研究科、地惑専攻 教授）で、32名で構成される。追加1名は次回の幹事会で承認する予定。

3. 審議事項

本委員会では以下の2つのミッションを中心に行う。

3-1. 高大接続、大学・大学院教育、キャリア育成の改善施策に関する事項

1) 実態把握の継続

全国地学系学科長・専攻長会議などにより、教育と研究と人材育成の実態を継続的に把握する体制を構築する。定量的変化を把握できるアンケート項目の整理と実施する。

2) 報告

地球惑星参照基準と提言「国立大学教育改革」に基づき、この分野の人材育成抜本改善策を模索し提案する。

3-2. 高校地学教育および教員養成の改善施策

1) 高校理科地学・地理教育・教員採用の実態を把握する

2) 高校理科教育・地学改善策の模索と改善提案を行う

3つ提言を参照：

学術の総合的発展と社会のイノベーション資する研究資金制度のあり方に関する提言

国立大学の教育研究改革と国の支援

大学教育のための教育課程編成上の参照基準、これからの高校教育のあり方

4. ワーキンググループの設置について

上記の2項目に関して各々ワーキンググループを組織して対応にあたることになった。取り扱う事項は以下の2点である。両者ともアンケート調査から行う。また、いずれもJpGU教育検討委員会と連携したい。

1) 高等教育WG 高大接続、大学・大学院教育、早期キャリア教育

大学教育に関する提言

2) 初等・中等教育WG、全国実態調査（県教育委員会宛）の実施

- ・地学基礎、地学履修状況
 - ・地学教員の数と採用実態
- 高校地学教育改善施策の提案

3) WGの区分は以下のとおりである。各グループで提言に向けての作業を行うことにする。

大学教育（15名）

高橋、田近、藤井、大久保（修）、大谷、川幡、久家、小嶋、佃、永原、中村（卓）、西山、福田、山形、関

高校教育（8人）

春山、伊藤、碓井、大路、小口、蒲生、北里、西

両者（6人）

木村学、中村（尚）、川口、張、氷見山、堀

未定（3人）

平田、大久保（泰）、佐々木

4) その他に以下の意見や提案があった。

- 高校教育だけでなく中学まで視野を広げた方がよい（中高一貫高も多い）。
- 次期の学習指導要領を視野に入れる方がよい。
- 提言までの時間が短いので、予定はもう少し早くすべきである。
- 大学関連に関しては、新しい提言が可能かどうか疑問もある
- スクラップ&ビルドを積極的に進めるべきで、大学相互の連携強化が必要。
- 「理数探究」などの活用も考慮すべきである。
- 提言だけでなく、公開シンポジウム等を考える必要もあるし、提言の内容を実際にどのように進めて行くかも議論したほうがよい。
- 大学に関しては学部以下を対象に絞った方がよい。
- この分科会ではむしろ提言に集中し、その実施はJPGUなどで検討する方がよい。

4. 今後の日程

1) 各WG第1回会議 2018・3月中（JpGU教育委員会と調整）

- ・ 議題：実態調査項目の整理と発信日程の確認

・ 2) 各WG第2回会議 2018・5月JpGU大会中（JpGU教育委員会と調整）

- ・ 地学系学科長・専攻長会議藤井・木村招集 5月JpGU大会中

3) 第2回地感人材育成分科会（7月末）

・各WG第3回会議 2018・9月頃 調査結果まとめ

4) 第3回地惑人材育成分科会 (12月末)

・各WG会議は、JpGU大会以外基本Zoom(JpGU管理) ネット会議で実施。